



有津海運株式会社 SDGs宣言

当社は、「外航船運航を通じて海事産業の発展に貢献し、ステークホルダーと共に成長する」との経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決、および持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2025年4月6日

有津海運株式会社

代表取締役社長 馬越 英一郎



重点項目(ターゲット2030)

安全・確実な海上輸送

外航船舶の貸渡事業において、国際的な規則を遵守した運航管理により、安全で確実な海上輸送を実現し、世界の物流に貢献します。

【主な取り組み】

ISMコードに基づいた船舶の安全管理の徹底、管理会社との協業による船舶管理の高度化、船員への安全教育や訓練の実施



環境保全への取り組み

国際環境規制に適合した船舶の運航を通じて、CO2排出削減と海洋汚染防止に努めます。また、社内での省エネ・創エネに取り組み、環境負荷の低減に努めます。

【主な取り組み】

スクラバー・バラスト水処理装置の設置、LED照明の設置、自家消費型太陽光発電設備の導入、エコカー導入



健全経営の実践

コンプライアンスの徹底や公正な取引の遵守に努め、健全な企業経営を実践します。また、インシデント発生時に迅速に対応できる社内体制を整備します。

【主な取り組み】

関連法令等の遵守、取引先との対等な関係構築、取引先・お客さま情報の厳正な管理、関係する各国の法律準拠の検証と商慣習の把握



地域社会への貢献

地域のボランティア・環境啓発活動に参加するなど地域社会との連携を深め、今治海事クラスターの一員として、地域の持続的な発展に貢献します。

【主な取り組み】

地域行事やイベントへの積極的な参加、地域団体の会合への参加、海事クラスターとの連携強化、地元人材の積極採用



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。